



報道関係者各位

2023年11月8日  
静岡県富士宮市  
株式会社マーケットエンタープライズ

## 静岡県富士宮市が不要品リユース事業で

### 「おいくら」と連携を開始

～利便性向上によるリユースの更なる促進へ～

静岡県富士宮市(市長:須藤 秀忠)と株式会社マーケットエンタープライズ(東京都中央区、代表取締役社長:小林 泰士、東証プライム・証券コード 3135、以下「マーケットエンタープライズ」)は、2023年11月8日(水)より、地域社会における課題解決を目的としたリユース事業に関する協定を締結し、連携をスタートいたします。マーケットエンタープライズが運営するリユースプラットフォーム「おいくら」を用いて、不要品を捨てずに再利用する仕組みを構築し、富士宮市の廃棄物削減と循環型社会の形成を目指します。



#### ■背景・経緯

富士宮市では、市内19か所に回収ボックスを設置し、不要になった衣類やカバンなどの革類を回収し、海外へ輸出するリユース事業を行なっております。しかしながら、近年、衣類・革類の回収量は減少しており、富士宮市では、リユース促進につながる新施策の導入が急務と捉えておりました。他方、マーケットエンタープライズは、リユース事業を中心にネット型事業を展開し、これまで、「持続可能な社会を実現する最適化商社」をビジョンに掲げ、「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」への参画や、「楽器寄附ふるさと納税」実行委員会の一員として活動을続けるなど、官民の垣根を超えたSDGsへの取組に注力してまいりました。

そうした中で富士宮市がマーケットエンタープライズに働きかけ、「リユース活動促進による循環型社会の形成を目指したい」という互いのニーズが合致したため、「おいくら」※1を用いた今回の取組が実現いたしました。

※1「おいくら」とは

おいくらは、マーケットエンタープライズが展開する、リユースプラットフォームです。不要品を売りたい方が「おいくら」を通して査定依頼をすると、全国の加盟リサイクルショップに一括査定依頼され、買取価格を比較することができます。一度の依頼だけで不要品の買取価格をまとめて比較し、売却できる手軽さが好評で、これまでおよそ110万人(2022年11月現在)の方にご利用いただいております。

ウェブサイト：<https://oikura.jp/>

#### ■富士宮市の課題と「おいくら」による解決策

富士宮市では、粗大ごみの戸別収集は行なっておらず、廃棄の際には、年に4度(6月・9月・12月・3月)行なわれるごみ集積所での収集に合わせて排出するか、清掃センターへ直接持ち込む必要がございました。そのため、「すぐに不要品を処分したいが、収集日まで時間があるので困っている」や、「ごみ集積所や清掃センターまで不要品を運び出すことが難しいので、サポートしてほしい」などの市民からの声が寄せられておりました。「おいくら」は、希望すれば自宅の中まで訪問し対応する出張買取が可能で、大型品や重量のあるものでも売却が容易にできるようになります。加えて、まだ利用できるものであれば、冷蔵庫や洗濯機などの家電リサイクル法対象製品も対象で、不要品売却と受け渡しは、最短だと「おいくら」を通じて買取依頼をした当日に可能となります。なお、市民のサービス利用に関する費用負担はもちろん、富士宮市の費用負担もありません。

#### ■今後について

11月8日(水)16時(公開時間が前後する可能性があります)より、富士宮市ホームページ内(<http://www.city.fujinomiya.lg.jp/citizen/visuf8000002dm9b.html>)に「おいくら」の情報が掲載され、直接不要品の一括査定申し込みが可能になります。富士宮市と「おいくら」の連携により、二次流通の更なる活性化による循環型社会の実現や、社会全体での不要品削減が見込まれると共に、自治体の廃棄物処理量削減及び処理コスト削減にもつながります。また、本取組によって、売却という形で簡単に不要品リユースができることを市民が認知することで、「廃棄ではなく、リユースする」という選択肢が増え、多様化する不要品処分ニーズに応えることができます。加えて、市民のリユースに対する意識の変化、循環型社会形成の促進につながります。この官民一体の取組によって、循環型社会の形成に向けた、社会的側面・経済的側面の双方の課題解決を目指してまいります。

## ■静岡県富士宮市

富士山の南西麓に位置し、豊かな自然の中で歴史と文化が生まれ、富士山本宮浅間大社の門前町や富士山の代表的な登山口として栄えてきました。2021年1月には、ゼロカーボンシティを宣言し、2050年の脱炭素社会の実現に向けた取組を加速していくために、「富士宮市ゼロカーボン推進戦略」を策定しました。この戦略では、地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入推進・パートナーシップによる「地域循環共生圏」の形成・省エネルギーの推進・環境に配慮したライフスタイルへの転換という4つの基本方針のもと、市民・事業者及び行政が一体となって、「オール富士宮」で各施策に取り組むことになっています。また、2021年5月には、世界遺産富士山のまちとして、市が提案した『富士山を守り 未来につなぐ 富士山SDGs』が、内閣府の「SDGs未来都市」に選定され、選定証をいただきました。

人口：128,361人（男 63,768人、女 64,593人）（2023年10月1日）

世帯数：58,750世帯（2023年10月1日）

面積：389.08平方キロメートル

ウェブサイト：<http://www.city.fujinomiya.lg.jp/>

## ■株式会社マーケットエンタープライズ

マーケットエンタープライズは、ネット型リユース事業を中心に、メディア事業、モバイル通信事業などを展開し、「持続可能な社会を実現する最適化商社」をビジョンに掲げ、2006年の設立以来、成長を続けています。2015年6月には東証マザーズに上場。2021年2月に東証一部へ市場変更の後、2022年4月にはプライム市場へ上場しております。ネット型リユース事業では、「高く売れるドットコム」のほか、リユースプラットフォーム「おいくら」や、80か国以上への中古農機具の輸出などで事業拡大を続けており、ネット型リユース事業のサービス利用者は延べ710万人を達成しました。富士宮市の「おいくら」サービス導入により、導入自治体は全国で76にのぼります。

「おいくら」自治体向けウェブサイト：<https://oikura.jp/lg/>

マーケットエンタープライズ ウェブサイト：<https://www.marketenterprise.co.jp/>

### 【報道関係者からのお問合せ先】

富士宮市に関すること

富士宮市 生活環境課 廃棄物対策係

担当：遠藤

Tel: 0544-22-1137 Mail: [kankyo@city.fujinomiya.lg.jp](mailto:kankyo@city.fujinomiya.lg.jp)

「おいくら」に関すること

株式会社マーケットエンタープライズ

PR担当：立花

Tel: 03-6675-3923 Mail: [pr@marketenterprise.co.jp](mailto:pr@marketenterprise.co.jp)